

tamtam

2019.11

VOL. 01

P1 [特集]
オープン!「市民活動支援センター」P2 [特集]
オープン!「市民活動支援センター」P3 隣の自治協さん「新井自治協議会」
丹波市民、学びの窓「黒井城跡と地域連携」P4 繋ぐ!市民活動「Imagine 丹波」
活動事業者紹介「木栄」

SPECIAL FEATURE

今号の特集

「市民活動支援センター」 オープン!



オープンイベントでのボードゲーム体験とミニステージ

丹波市市民活動支援センターが10月22日（火）より開館しました。丹波市まちづくりビジョン（20年後のまちと暮らしの姿）に描かれる住み慣れたまちに住み続けられる暮らし、そして、地域のことは地域のみんなで取り組む「地域自治」の実現に向けて、市民の皆さんのが主体となった市民活動や地域づくり活動を総合的に支援します。

「1.みんなで育てる・集える市民プラザづくり」「2.地域づくり・市民活動の情報収集・発信・調査研究」「3.地域づくりや地域課題解決の団体支援・伴走支援・お手伝い」「4.市民1人ひとりの

活動支援」を中心に、地域づくりを包括的に支援していきます。

市民プラザ、市民活動支援センターのテーマは、「ごちゃまぜ」。ショッピングセンターの2階に位置し、氷上子育て学習センターもあるため、子育て世代や学生、高齢者など様々な方が気軽に立ち寄ることができます。また、9月28日の意見交換会、10月20日のオープニングイベントをはじめ、様々な方の意見や活動を参考にしながらオープンに至りました。市民活動支援センターは、完成された施設ではなく、市民や活動団体の皆さんとともに、つくり、育てるセンターです。



丹波市市民活動支援センター
TAMBA CITY CIVIL AND COMMUNITY ACTIVITIES CENTER

SPECIAL FEATURE

Topics 01 オープン前意見交換・交流会を開催!

丹波市市民プラザのオープンに先駆け、9月28日(土)にゆめタウンのポップアップホールにて『みんなでつくろう!使おう!みんなの市民プラザ』をテーマに意見交換会・ごちゃまぜ交流会を開催しました。最初は「市民プラザってどんなところなのかな?」「何を話し合つたらいいの?」という少し緊張した雰囲気でしたが、ミニゲームや自己紹介から話題が広がって場も和やかになり、日々の生活で感じていることや活動されている中で考えていることなど思い思ひのお話をされました。

また、これから一緒に活動していく団体

や個人で参加された方々から「多世代が交流できるスペースになってほしい」や「気軽に活動の相談ができる場所になってほしい」など市民プラザの活用に向

て様々な意見が出ました。地域づくりに積極的に活動する多くの参加者と交流することができ、これから動き出す市民プラザの弾みとなりました。

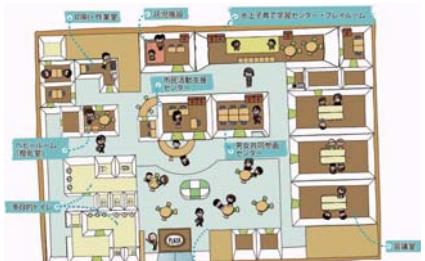


SPECIAL FEATURE

Topics 02 市民プラザについて



オープンスペース



館内図



会議室



プレイルーム

丹波市市民プラザは、市民活動や地域づくり活動を皆さんと一緒に考え、活動をお手伝いする「丹波市市民活動支援センター」と、男女共同参画社会の実現に向けた取組を行う「丹波市男女共同参画センター」を設置する複合施設で、市民の皆さん为主体となったまちづくり活動を応援します。また、「氷上子育て学習センター」を併設し、子育て相談やグループ活動の支援を行います。

【お問い合わせ】

〒669-3467 兵庫県丹波市氷上町本郷 300(丹波ゆめタウン 2階)

TEL 0795-82-8682 FAX 0795-82-8692

ホームページ <https://www.tamba-plaza.jp/>

さん自隣りの 自治協議会

TONARI no
JICHIKYO san

新井自治協議会

直面する様々な課題に独自の解決策を考える

新井地区は柏原地域西部に10自治会、約950世帯の新旧住民が暮らしています。新井自治協議会は、その中心である柏原町北山に拠点である新井ふれあいセンターを置き、情報交流のプラットホームとなっています。子どもたちから「新井フレ」の愛称で呼ばれ、下校後の遊び場になっており、時には叱らないといけないこともあるものの、事務員さんとは声を掛けあえる仲です。また、幼児を連れた子育て世代も定期的に集まる拠点として運営しています。地区内には小さな自治会や自治会の未加入者が多い地域など、それぞれに課題を抱えていますが、自治会会长会や市役所と連携し、長期的な視点や個人情報の守秘なども考慮した先進的な地域づくりを目指しています。

組織の連携と支えあい助けあいの関係づくり

昨年7月の豪雨は記憶に新しく、新井地区でも8箇所ほど土砂崩れが発生し、防災・減災に住民の関心が集まりました。各自治会では近所隣りの助けあいを推進するとともに、校区内でも組織が連携しようと協議が始まりました。

「人口減少と高齢化はこれからも進みます。障がいがあっても高齢になっても、安心して自分らしい暮らしができるには、お互いに認めあい支えあう地域づくりが必要」と話されるのは地域コミュニティ活動推進員の田中さん。3年前に柏原自治長協議会、柏原自治協議会と新井自治協議会で三組織懇談会を結成しました。懇談会では地域課題を出しあい、解決に向けてそれぞれの役割を模索しています。



地域コミュニティ活動推進員 田中さん

丹波市民、学びの窓



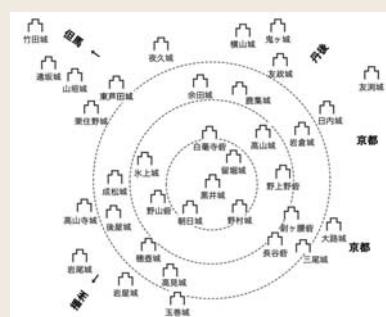
黒井城跡と地域連携

来年のNHK大河ドラマ「麒麟がくる」では明智光秀が主人公として放映されます。戦国時代、明智光秀が2度にわたって攻めた黒井城が、今また脚光を浴びることになります。丹波市が舞台となるシーンや紹介が全国の茶の間で見られるのではないか・・・という期待から、市観光協会や黒井地域を中心に広報活動が続いている。

市内各地にはその時代の城や砦などの遺構が残り、昔の武将たちが戦った話が伝わっています。全国的にも名高い武将として知られていた荻野（赤井）直正が黒井城を中心治められていた丹波市の実情は、市内各地域の国人衆（こくじんしゅう）と呼ばれる地元住民やその代表が力を合わせ、時には離反したり、時には話を重ねながら、地域が連携して自治共同体を形成していました。また、丹波篠山市や京都府の丹波地域、

播州や但馬との交流も活発だったことがわかっています。

令和の時代になった今日でも、組織を越えて連携イベントを開催したり、甲冑作りを通して黒井地区自治協議会と小川地区自治振興会が交流を持ったりしています。黒井城跡の本丸から見える景色は大きく変化したのかもしれません、地域が手を繋ぎながら社会課題に挑む住民の営みは変わっていないのだと言えます。



黒井城を中心とした支城と砦

[写真提供] 井上朋己さん

[参考文献] 丹波戦国史(歴史図書社)



繋ぐ!市民活動

特定非営利活動法人 Imagine 丹波

設立 2 年目に入った「特定非営利活動法人 Imagine 丹波」は、高校生を中心とした地域の若者の教育支援、キャリア支援を実施しています。市内でレストランを営む代表の鴻

谷さんは、兵庫県立氷上高校の非常勤講師として『丹波学 起業経営』という授業を実施。地域の事業者を招きながら、自身も事業として取り組まれている 6 次産業化をテーマ



に、生徒たちは製品開発のアイディア出しや販売計画を学んでいます。不透明な社会に対して若い人が進路や生き方を考える上で、地域の仕事や生活のあり方を見せてることで、身近で等身大のお手本として、どのように目標を持ち努力するのかを感じてもらいたいと考えています。

また、就職先となる地元企業も現在の高校生世代が「何を想い、何を考えているか」といった実態、価値観を知る機会は多くありません。その結果、短期間での退職や仕事への意欲の喪失などの問題が発生しています。そのギャップを取り払い、お互いが理解し学び会える場作りを進めています。今後は、企業への若手社員教育の支援にも注力していく計画です。

若者の居場所づくりを目指して任意団体としてスタートし、運営メンバーも少ないながら事業を進めてきました。法人化することで、行政や関連団体との連携をより一層深め、地域全体に活動を広めていきたいと考えています。



活動事業者紹介

株式会社木栄

山林の管理から製材加工・建築設計・施工管理まで一貫して行われる木栄が、地元で廃校になった旧神楽小学校を再利用して今年5月にオープンしたのが「FOREST DOOR しぐら」。教室の形態は変えず、地元の木を体感できるギャラリーやストア、木のおもちゃで遊べる木育ステーション、カフェスペースなどとして地域の人たちに利用されています。

人が集まることで新しいアイディアが生まれ、FOREST DOOR しぐらができたから丹波布や鹿革製品とのコラボ商品が生まれました。旧体育館に展示されている災害用ログモジュールは、2019 年度グッドデザイン賞を受賞。普段は本棚や子どものおもちゃとして使



え、災害時には避難所のベッドや避難者のプライバシーを守る間仕切りなどに自由に作り変える仕組みになっています。

「もっとみんなに山に入ってほしい。森への入り口 (=FOREST DOOR) となるように」と

話される会長の足立栄逸さん。山を守り自然との共存を考える木栄が、地域の人たちと作る FOREST DOOR しぐらで、地元の木の良さ・自然のすばらしさを味わってみませんか？



丹波市市民活動支援センター

TAMBA CITY CIVIL AND COMMUNITY ACTIVITIES CENTER

〒669-3467 兵庫県丹波市氷上町本郷300 丹波ゆめタウン2階 丹波市市民プラザ内
TEL 0795-82-8683 MAIL ccac@tamba-plaza.jp

開館時間 10:00 – 18:00(会議室は 21:30まで) / 毎週月曜日・年末年始休館

<https://www.tamba-plaza.jp/ccac/>

【情報誌へのご意見募集】

「たむたむ」についてみなさまのご意見、ご要望をお待ちしています。役立つ情報紙と一緒に作っていきましょう。